

或本の反歌に曰く

九一〇番

神かむからか 見みが欲ほしからむ み吉野よしのの 滝たきの河内かふち
は 見みれど飽あかぬかも

九一一番

み吉野よしのの 秋津あきづの川かはの 万代よろづよに 絶たゆることなく
またかへり見みむ

九一二番

泊瀬女はつせめの 造つくる木綿花ゆふはな み吉野よしのの 滝たきの水沫みなわに
咲さきにけらずや